

オンライン座談会 つながる“子どもの居場所” 「いま」と「これから」

草加市では、子どもの居場所が地域の人々の力でどんどん広がっています。このページでは、様々な「居場所」を運営している5人の方とのオンライン座談会の様子をお届けします。

参加して下さった皆様

侯野 紀子(またの-りこ)さん



HP

NPO法人冒険あそび場 ネットワーク草加

活動内容…冒険松原あそび場の運営・地域に広める事業・プレリーダー育成/活動日時…週5日(月・木・金は11時から、土・日は10時から夕焼けチャイムまで)/活動場所…草加市文化会館横(松江1-1-23(松原線))/
お問い合わせ…048-935-7383、bokenmatsubara1123@gmail.com/地図面での場所…⑬

野口 由樹(のぐち-ゆき)さん



HP

carecafe 碧空“りく”



Twitter

活動内容…ヤングケアラー・若者ケアラーなど、ケアを担う若い世代に向けたオンラインケアラースカフェ/活動日時…第2水曜日の21時から22時半まで/活動場所…Zoom、SNS中心(新型コロナが落ちれば対面も)/お問い合わせ…carecafe.riku@gmail.com、公式LINE→

新井 江美(あらい-えみ)さん



Facebook

草加 あおはる食堂



Twitter

活動内容…子ども食堂、地域多世代食堂/活動日時…第4土曜日の16時から19時まで/活動場所…川柳文化センター/お問い合わせ…公式LINE→

地図面での場所…⑩

三澤 江津子(みさわ-えつこ)さん



HP

NPO法人子ども広場 草加おやこ劇場

活動内容…多様な生き方・価値観との地域での出会いの場づくり。特に年齢にあった定期的な舞台鑑賞の場、創造的な自主的な活動など/活動日時…不定期/活動場所…おやこHouse(団体事務所)、市内公共施設など/お問い合わせ…048-936-1771/地図面での場所…⑪

林 明美(はやし-あけみ)さん



活動内容…フードパントリー(食料支援)/活動日時…奇数月の第1日曜日/活動場所…草加市八幡町(詳しい場所は申込みされた方に直接連絡)/お問い合わせ…090-1768-6276(林)、sokapantory.hiroppa@gmail.com

草加子育て支援フードパントリー ひろっぽ

—本日はよろしくお願いたします。

—さっそく質問させていただきます。皆さんが活動を始めたきっかけはなんですか。

侯野 団体の活動自体は、子どもが自由に遊べる場を作りたいという気持ちを持った市民の調査で子どもたちが公園で自由に遊べていない現状が見えたことで、2003年から始まりました。私は自分の子どもを連れて遊びに行っており、子どもが大きくなってから活動に関わるようになりました。

野口 ヤングケアラー(※1)のためのケアラースカフェを始めたのは今年から。最近になりヤングケアラーという言葉がメディアでも取り上げられ始め、SNSなどでも発信している人が増えてきたけれど、実際にケアを担っている子が声を上げにくい現状があります。自分も高校2年生から10年ほど祖母の介護をしていた元ヤングケアラーで、ケアをしている子がひとり抱え込まないで話せるような場をつくりたいと思ったのがきっかけです。

新井 私は子どもの友だちでよく家に遊びに来ていた子が、夕飯をひとりで食べているのを知ったことから。うちで一緒に夕飯を食べてもらいたいと思ったけど、いろんなハードルがあると感じていて。そんな時に子ども食堂という活動があることを知って、地域の居場所として始めようと思いました。

三澤 おやこ劇場自体は1970年代からの活動です。当時、個室に子どもがこもって孤立してしまうことを心配して、福岡県から全国に広がりました。私は子どもがまだ小さいときにおやこ劇場に出会って、一緒に観劇できたらいなあというくらいの気持ちだったけれど、周りの会員と悩みを相談し合ったり、同じ体験を共有したりする居場所でもあるんだと感じました。他の活動もそうだと思いますが、今後も活動が続いていくように仲間を集めているところです。

林 フードパントリーを始めたきっかけは、その前にボランティアをしていた隣の子ども食堂での経験がきっかけでした。その食堂は主催の方が亡くなり活動がストップしたのですが、どうにか子どもたちへの支援を続けることができないか、子どもたちに十分な食料を届けられないか、などの思いがあり、草加市で最初のフードパントリーを始めました。



—ありがとうございます。活動をされる中で、どのような役割を担っていると感じていますか。

侯野 これまでの活動の中でヤングケアラーに該当する子どもがいたし、最近では子ども食堂の活動のお世話になったりもしていて、「子どもの居場所」の役割があるんな風に広がっているなど感じます。新型コロナの影響で子どもが自由に遊ぶ機会が少なくなっていると感じています。

野口 家族の介護やお世話を担っている子が困ったとき、いきなり市役所や相談窓口に行くのはハードルが高いと思うのですが、ケアラースカフェやSNS、LINEでの個別相談などを行うことで、必要な窓口につなげる役割があると感じています。新型コロナが落ち着いたら対面での居場所も開催したいと思っていますが、今はオンラインでの居場所として、自分の経験を話したり、まずは誰かの話を聞いてみるだけでも大丈夫！という場を提供しています。

新井 民間団体ならではの意思決定の身軽さ、すぐ行動できるという利点を活かして、誰でも来れる居場所をつくる役割があると思っています。

三澤 子どもにとって、さまざまな大人との出会いや創造の場があることが大事で、小さいころの出会いが大きくなったときに力になるんじゃないかなと思います。会員制だからこぞできる企画を通して、子どもの成長が見られます。今はおやこHouseという場があるので、異年齢の人々が集まれる場を提供するという役割もあります。

林 日々の食費を節約しなければならぬ家庭に食料をお渡しすると、結構量があるので、気持的にも安心できるという声をいただくことがあります。食べ物を受け取るだけだけではなく、安心を提供するという役割もあるんだと実感しています。また、パントリーの利用者を他の支援につなげていくことも大切にしています。パントリーの活動を始めた時期と新型コロナが流行し始めた時期がちょうど重なり、準備をしてきてよかったと感じました。



—新型コロナの影響下での活動で思うことなどはありますか？

新井 メディアなどで子ども食堂のことを取り上げられる機会が増えて、いろんな方に知っていただいているなど感じる一方で、来てくれる方なかなかお話しできず、本当に必要な人に届けることが出来ているのかな？と思うことがあります。新型コロナが落ち着いたら、お話しをする機会を増やしていきたいですね。子ども食堂を利用するなんて甘えだ、と感じる方もいらっしゃるようなので、そうではないことを周知する中で伝えていきたいと思っています。

林 食料を配布する活動なので、新型コロナが流行していてもやりやすい活動だと思います。配布場所が密になりにくい場所なので、心配も少なく実施できました。

—行くことを躊躇している人に向けて伝えたいことはありますか？

侯野 冒険遊び場の売りでもある「泥遊び」が不安でなかなか子どもを行かせられない親御さんもいらっしゃると思います。着替え・替えの靴・下着を準備してきてもらえると安心して遊べます。冒険遊び場はゲームなどが少ない場所。あんまり叱らなくて良いので、リラックスして柔らかい気持ちで遊びに来てくださいね。新型コロナ対策については、屋外なので蜜を回避でき、手洗いや消毒ができるように環境を整えていますよ。

新井 草加あおはる食堂の問合せ先がLINEになっているのですが、どんなことがためらいになっているのかぜひLINEで教えてください。

三澤 会員制であることが高いハードルになっているかもしれません。すぐに成果が出る活動ではないけれど、地域とつながって子どもも親も「ここにいる」と感じることができるといいですね。

林 食料を無料で貰うということに抵抗がある方が多いということに気が付いたのですが、そんなことないよって伝えたいです。お家を寄って下さっている方が「今は助けられているけど、今後は助ける側かもしれないので、その時に自分ができる範囲でできることをしていきましょう」と仰っていたことが

あります。困っていたら、ためらわずに連絡をください。

—carecafe碧空“りく”ではオンラインの居場所ということで、他の居場所とは違った難しさがあると思うのですが、野口さんからはいかがですか。

野口 オンラインという形なので、どんな人がやっているかわからないという不安があると思います。Zoomの他に、TwitterやLINEでも発信していますが、ネット上では声を上げている方は多くても、実際に自分で相談に行くのが難しかったり、自分がヤングケアラーかどうか分からない方もいて、今は辛さ・不安、悩みを感じていない方も、少しでも一人で考え込んでしまうということがあれば、気負わずにいつでもご連絡くださいな。

—地域の方が、近所の子どもを皆さんの活動につなげたいと思った時、どうアクションするのが良いですか？

侯野 地域の方もぜひ気軽に来てみてください。リーダーハウスに声をかけていただければと思います。運営と一緒にやりたい方も大歓迎です。いつでも声をかけてください！

野口 ヤングケアラーかも？という子がいたら、ぜひHPからお問い合わせください。メール、Twitter、LINEにつながり、その中で個別でのお話やZoomのお知らせもできます。

新井 公式LINEか、こども応援ネットワークPine(※2)にお問い合わせください。

三澤 ぜひおやこHouseに立ち寄ってください。近くにおやこ劇場の会員がいればお声がけください。

林 埼玉県のフードパントリーネットワーク、社会福祉協議会、まるごとサポートSOKA(※3)、市役所の子育て支援課、地区の主任児童委員(※4)に話してもらえば、つながります。

—活動の「これから」についてどのように感じていますか。

これから

侯野 子どもに関わる居場所がつながる必要があると感じています。いろんな角度から子どもたちを支えるために、大人同士がつながることが大切。

三澤 侯野さんの言ったとおりで、今回集まったメンバーもそうですが、それぞれ得意分野があるので、力を合わせながら子どもたちを支えていきたいです。

林 親が申し込みをする活動の場合、子どもが困っていると感じていても、親御さんが申し込みまで至らない家庭もあると感じます。子どもからのSOSを拾ってあげるように、つながっていききたいですね。

野口 障がい・病気に対する周囲の理解を得るのが難しいと感じていて、打ち明けられなくてひとりで背負い込んでしまうという方もいらっしゃると思うんです。もし、それぞれの活動の中で「もしかして？」という子どもがいればつながってみなさんと支えあっていきたいと思っています。

侯野 冒険松原あそび場は不登校のお子さんが平日の昼間に利用できる居場所として、「多様な学びプロジェクト」の「とまり木」(※5)として登録されているので、遊びに来てね。

—さまざまな形の「居場所」についての想いを教えてください。

三澤 「場所」に「来る」だけで子どもの居場所になるわけではなくて、子どもたち自身が「居場所」と思ってくれることが大切。どうしていくのが良いのかな、と考えてます。

侯野 「居場所」と思ってくれるまでは時間がかかるかと思うけど、抱えていることを引き出すのは難しいです。続けていくことが大事だなと思います。

新井 できる力を持っているのにあきらめてしまう子どもが多いような気がします。子ども食堂が自分の事を話せる場所、話せるきっかけになればと思います。

林 フードパントリーが「居場所」になるのかな？と思っていただけ、お父さんを応援する・エネルギーになる場所、選択できる場として捉えてもらえたらな。

野口 「居場所」って結局、「人」だなと思っています。安心して話せる人のところに行こう、という思いになるのではないかと感じてます。抱えているものを引き出すということはお互いの信頼関係からうまれていくので、「人」と「人」との関係を大切にしていきたいです。

—以上です。ありがとうございました。

このような方はいませんか？

- ・今、困っている方
- ・お子さんのお友だちが困っていると感じている方
- ・近所に住む子どもの様子が気になる方
- ・子育てや子どもの育ちを支える活動に参加してみたい方

子どもたちの成長を支えるための「つながり」には、地域の人々の子どもを見守るまなざしも含まれています。まずは子育て支援課や子育て支援センター、お近くの子育て支援団体などにご連絡ください。

ただし、虐待かも？と思ったら児童相談所虐待対応ダイヤル ☎189に電話してください。

- ❖ この座談会は令和3年(2021年)10月に行いました。
- ❖ 活動内容についてもっと詳しく知りたい場合は、各団体のお問い合わせ先に連絡してください。

- 【注釈】
- ※1 ヤングケアラー：一般に、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話を日常的に行っている子どもとされています。(厚生労働省HPより)
 - ※2 こども応援ネットワークPine：地域で「子どもの居場所」を運営している団体のネットワーク。草加市や近隣の地域で活動している子ども食堂や学習支援、遊び場などの運営団体がつながっています。
 - ※3 まるごとサポートSOKA(そうか)：仕事、生活や家庭の問題など様々な悩みを抱えて、生活にお困りの方のための相談窓口です。相談員があなたの抱える悩みを整理しながら、必要に応じて他の機関と連携し、問題解決のためのお手伝いをします。一人で悩まずにはずはご相談ください。(草加市HPより)
 - ※4 主任児童委員：子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ことなどの相談・支援等を行う児童委員のうち、児童に関することを専門的に担当する人を主任児童委員といいます。民生委員は児童委員を兼ねています。
 - ※5 「多様な学びプロジェクト」の「とまり木」：学校以外で学んだり過ごしたりする子どもが、平日の昼間などに気軽に立ち寄れる場所。



必要な情報がぎゅっ

草加市の子育てに関するお役立ち情報が凝縮されている「そうか子育て応援情報サイト『ぼっくるん』」。草加市役所からの情報提供だけでなくこんなコンテンツも！

- ★ 読んでためになる「子育てコンパス」
- ★ 市民目線で取材した「ぼっくるん隊」の記事
- ★ 子育てについての相談「子育てなんでも窓口」のご案内

「電話で話すのは苦手…」
「ゆっくり内容を考えながら相談したい」という方にはインターネット相談がおすすです。

プレババ・プレママ〜じいじ・ばあばまで、ぜひアクセスしてください！

そうか子育て応援情報サイト ぼっくるん

スマートフォンなどで簡単アクセス！

話ができてほっ

子育て支援コーディネーターが常駐している

- ★ 「みつけ」(子育て支援センター2階)や
- ★ 「プチみつけ」(市役所第2庁舎2階)は、あなたの話を聞きながらおすすめの情報を色々提案してくれたり、子育てについてもやややなどをお話できる場所です。ふらっと立ち寄って、みつけやプチみつけをのぞいてみてくださいね。

外出はちょっと難しいというときには、

- ★ 子育てなんでもダイヤル ☎048-944-0621

でもお話を伺っています。お気軽にご連絡下さいね。(平日の8時半から17時まで。祝日・年末年始を除きます。)

←自分から色々聞くのが苦手…という方でも、子育て支援コーディネーターから「遊ぶところの情報を探しているのかな?」「おうちのはどの辺りですか?」と探している情報について聞いてくれますよ。

来てくれたママに「先輩ママとして寄り添います。」